

水越のぶまさ □ウッドメカニカル

木を素材に、生物の形態や機構をデザイン化し創作したもの

■すべての生物の起源は海の中にあり、生命誕生説には、まだまだ謎が多いようですが、そこからの進化の過程を想像すると、19世紀産業革命のようにトライ&エラーが数十億年繰り返され現代の生物たちの構造や機能、能力が生まれました。1990年頃から、この特性を産業とし「生物模倣技術」バイオミメチックが生まれた。私は、この生物達の適合性や多様性が美しいと感じ、創作しています。

宮崎桂一 □混色多面体シリーズ[I] □フルカラーキューブ

透明な立方体の表面に3原色(シアン、マゼンタ、イエロー)で着色した「フルカラーキューブ」

■写真や印刷に使われる3原色(シアン、マゼンタ、イエロー)を透明な立方体の表面に着色することによって、3原色全ての色を閉じ込めた。透明キューブ内の多重反射による混色により、照明の光の性質や見る角度によって、見た目の色合いが様々に変化する。

混色多面体シリーズ[II] □混色デューラー多面体

アルブレヒト・デューラー作「メランコリア」画中の多面体を3原色(シアン、マゼンタ、イエロー)で着色した「混色デューラー多面体」

■「メランコリア」は、ドイツルネサンス期の画家アルブレヒト・デューラーによって500年前に描かれた銅版画。画中に登場する謎めいた多面体は「デューラーの多面体」と呼ばれ、美しさの解析が試みられている。透明体へのCMY着色は、立方体とも異なる趣で、照明の光の性質や見る角度によって、様々に変化する色合いが美しい。

おつづみ

みちり

山内啓司 小堤製作所 柴田美千里 □銀河すくい

ビデオフィードバックの記録(ヤマウチエフェクトー山内啓司作成)と、小堤製作所による設計製作の装置を、柴田美千里のアイデアにより合成。

■ビデオフィードバックにより現れる模様は、考えられる条件を合わせてもなかなか再現することができません。その表情は無数にあり、変化し、停滞し、刺激を受け、始まりも終わりもあり、現実そのものです。あまり見る機会がないこの現象を記録したものが、ヤマウチエフェクトです。この映像はCGではないので、映像から教えてもらうことがたくさんあります。無常や森羅万象を可視化したような。では、ヤマウチエフェクトの銀河をみんなですくってみましょう！

吉川信雄 □竹の物語

■宇宙を構成している愛すべき元素たち、結合と融合で、どんな生命をまた生じさせようとしているのか。

吉田富久一 □大地からの狼煙

縄文思考による農の科学— 燻炭焼き土器ダクト装置

■積み上げた土器ダクトは、穀物の熱分解を助ける煙道装置。排出する煙を冷却し、靱酢液の採取もできるし、燻炭を焼き切る熱で土器焼成可能である。採取された燻炭と灰は、耕作地の土壌改良材や肥料として有機農耕に寄与する。野焼きは炭素の自然循環に見合っており、最小化の研究の一環である。機能・目的を持った創意を造形することに本来のアート(藝術)があり、社会的復権できると考える。

■参考写真パネル:SMF「TANBO プロジェクト田園の夢“農はアートだ!”-2016」(加田屋たんぼ/さいたま市見沼区)

主催:SMF 共催:見沼ファーム 21、ファーム・インさぎ山 企画・実行:社会芸術/ユニット・ウルス(代表:吉田)

ISTAビエンナーレ 2

サイエンス・アートの饗宴

2017 2.13mon.-2.18sat.

11:30-19:30 最終日16:00まで

オープニングレセプション 2.13mon. 17:30~

ギャラリートーク 2.13mon. 18:30~

石原正三

イメージミッション木鏡社

大内公公

かみむらみどり

小堤製作所

斉藤大介

境 悠作

柴田美千里

高木隆司

竹田辰興

長谷川千賀子

ポール・ヒルデブランド

水越亘将

宮崎桂一

山内啓司

山岡久俊

吉川信雄

吉田富久一

慶

いりや画廊 東京

